

2014年度

西日本障がい者パワーリフティング選手権大会

平成26年7月6日

名古屋芸術大学体育館

報告：吉田寿子

写真：物江毅、吉田進

太鼓の音と共に開催された、本年度の西日本障がい者パワーリフティング選手権大会。トトの助成金と、日本パラリンピック委員会の後援を受けての開催となった。

6年後の東京パラリンピックの準備として、ウエサカさんから判定などの表示版の試作、東京パラリンピックでスタッフを務めることになるであろうIPC公認国内審判員のみなさんのスタッフとしての訓練、リオを目指す選手たちの記録の向上、視覚障がい者の選手の世界選手権大会への準備、など、様々な課題を持って、大会が開催された。



開催に当たり、ご尽力くださった、愛知県の皆様には、心から御礼を申し上げたい。世界選手権を終えたばかり

のリオパラリンピック参加を目指す選手たちは、この大会では、一休みという感じがあったが、その中で、競技歴10ヶ月の西崎哲男選手が、男子54kg級で131kgの日本新記録をマークして、最優秀選手賞を獲得した。また、この大会は、IPC公認大会で、世界ランキング登録大会となっており、UAEから選手が参加し、秋のアジアパラリンピック大会の参加標準記録を突破した。また、台湾から選手を招聘し、台湾のトレーニング事情を発表してもらった。（詳細は、この号にレポートとして別途掲載させていただいた。）



視覚障がい者部門の参加の大谷重司選手は、男子 67.5kg 級で、120kg をマークし、秋の世界選手権参加に向けて、好調な滑り出しをした。この視覚障がい者部門は、昔の IPF ルールが適用されており、クラスは、IPF の以前のクラスが採用されている。世界視覚障がい者パワーリフティング連盟も、なんとか、パラリンピック入りを果たしたいと、様々な働きかけをしているが、今のところ、パラリンピック入は果たしていない。

今年度から、文科省の管轄をうけるようになった、日本パラリンピック委員会も様々な変化があり、来年のスポーツ庁の誕生、そして、東京パラリンピックへと、大きなうねりの中に飲み込まれている感のある、昨今の障がい者スポーツ事情だ。

本年は、世界選手権、アジアパラリンピックと大きな大会参加が続き、選手は休む暇なく、トレーニングに励んでいるが、同時に、新しい選手を発掘し、東京パラリンピック以降の選手を育てようという、日本パラリンピック委員会の行事参加や、選手や役員を集中的に教育しようと、医科学、情報、心理、栄養学、映像技術、といった教育プログラムが生まれ、これへの参加など、「今現在」、「東京オリンピック&パラリンピック」、そして「2020 年以降」という 3 つのフェーズを視野に入れた活動が始まっている。

私達障がい者パワーリフティング連盟でも、全体のスポーツ界の動きと合わせ、今現在の選手の競技力向上、強化。リオや東京パラリンピック、視覚障がい者ワールドゲームズへの参加、そして、2020 年以降に活躍できる選手の発掘と育成、同時に、審判や、連盟役員といった組織を運営していける人々の育成、こういった課題の中に、投げ出されている現在だ。

連盟役員、審判員、愛知県のスタッフの皆さん、そして、名古屋芸術大学の太鼓部の皆さん、大会開催にご尽力いただき、ありがとうございました。

写真下：全員集合

写真上左：視覚障がい者部門で日本記録を出した大谷選手

**写真上右：UAE 選手と台湾選手、後ろは、理事長の吉田進
と石田副理事長**



POWERLIFTING Nomination SHEET



JAPAN POWERLIFTING FEDERATION FOR THE DISABLED

DATE	CITY / COUNTRY	VENUE
July 6th, 2014	Kita Nagoya City/Japan	Nagoya Geijutsu University, Cymnaium

GENDER (M/F)	CATEGORY	COMPETITION TITLE
Male and Female	All	2014 West Japan National Powerlifting Championships for athletes with a disability

Lot No.	Family Name	Given Name	IPC ID Number	Class	M/F	Date Of Birth		Body Weight	Attempts				Best Lift	Final Position
						Month	Year		1st	2nd	3rd	4th		
1	Kobayashi	Hiromi	9324	45	F	3	69	44.9	× 63	63	65		65	1
2	Matsumoto	Takashi	9333	49	M	10	69							
3	Miura	Hiroshi	11334	49	M	10	64	47.7	108	120	× 131		120	1
4	Nishizaki	Tetsuo	22214	54	M	4	77	52.3	122	127	130	131	130	1
5	Okada	Yuji	9332	59	M	7	76							
6	Yamada	Kazuhiko	11328	59	M	1	54	57.9	94	97	× 100		97	1
7	Jo	Takashi	9325	65	M	1	60	64.2	120	126	× 131		126	1
8	Murai	Tuchio	-	65	M	4	61	63.1	× 110	110	× 115		110	2
9	Sato	Yoshitaka	-	65	M	12	74	77.8	110	× 115	× 115		110	3
10	Uchida	Motoya	20485	72	M	9	68	70.4	100	× 103	103		103	2
11	Sano	Yoshiki	9331	72	M	9	68	71.46	130	× 137	137	143	137	1
12	Ikeda	Hitoshi	-	72	M	9	62							
13	Ujiro	Hajime	9328	80	M	1	73	78.32	165	× 175			165	1
14	Saito	Nobuhiro	20620	80	M	4	67	77.3	127	135	× 140		135	2
15	Odo	Hideki	9327	88	M	10	74	81.44	177	185	× 190		185	1
16	Takeda	Masahiro	9329	107+	M	10	71							

Another country (Chinese Taipei and UAE)

1	Lin	Tzu-Hui	9361	79	F	11	81	76.92	90	100	110		110	1
2	Lin	Ya-Hsuan	9362	61	F	8	76	59.68	73	76	80		80	1
3	Albaloushi	Ahmed Khamis	9617	107	M	12	74	120.4	155	165	175		175	1

視覚障害者

1	Otani	Juji	—	67.5	M			66.8	112.5	117.5	120		120	1
---	-------	------	---	------	---	--	--	------	-------	-------	-----	--	-----	---